



私たちの

町議会びらり



ここが聞きたい一般質問 P 2
(令和8年6月定例会)

委員会報告 P 4

審議した議案 P 6

あの人に聞く P 8

作：佐藤^{さとう} 二葉^{ふたば} 氏
本町在住
「トマトマトマト」
(パステル画)

vol.128 2026.8.7

質問

※この文章は一般質問した議員本人が要約・作成したものを基に作成しております。
全内容は平取町ホームページの平取町議会会議録をご覧ください。



千葉 良則
議員

鉄道記念公園の

管理体制とSL等の

修繕方法について

問 鉄道記念館について、来館者は年間で約2000人から2500人程度となっておりますが、今までに展示品の盗難もありました。内部展示品の管理体制や記念館の活用方法について今後の考えを伺います。

答 (総務課長)

記念館については、常駐することが建物を管理する上で大変有効だと考えます。現在のところ具体的な案はありません。昨年からは振内支所長を含めて活用方法等を協議しており、事例などを集めながら今後検討していきます。

問 振内鉄道記念公園の存在をアピールする上でも、交流人口を拡大していく観点からも、鉄道記念公園を活用したイベントについて続けて欲しいと思うがいかがでしょうか。

答 (総務課長)

イベントを開催して施設を利用することは有効だと考えます。今後も記念館等を利用したイベントについて継続し、新たなものも考えていきたいと思っています。



△鉄道記念館

問 客車の雨漏り等の修理を含めて簡易宿泊施設であるライダーハウスの再生が必要と思うが考えを伺います。

答 (総務課長)

当該施設は現在休止中ですが、今後調査検討する中で宿泊業再開となれば、再度宿泊業の許可申請をすることで対応出来ると考えています。

問 旧国鉄として歴史的にも教育的な視点からも、D-51機関車等について劣化・老朽化が進み早期の修繕が必要と考えるが、財政的な措置を含めて今後の考えを伺います。

答 (総務課長)



△D-51機関車

答 (総務課長)

専門家の調査を経た上で、復元と保全に向けた予算措置が必要になってきます。クラウドファンディングやふるさと納税の資金活用など有効であり、それらも含めて今後検討していく必要があります。

答 (町長)

当町に訪れていただくためにもこういった施設を残していくのが重要だと認識しています。財源含

めて様々な検討が必要ですが、専門的な知識を持った方と地元の方とも、今後の修理や管理方法等について協議・検討させていただきます。



木村 英彦
議員

町の情報発信の 取り組みについて

問 近年、情報伝達や発信方法が目まぐるしく進化しています。当町でもデジタル推進に特化した課を設け、取り組みを強化してはどうか。

答 (まちづくり課長)

デジタル推進の一環としてテレワークが行える環境を整備しつつ、シェアオフィスやワーケーションに取り組んでいる事例もあります。これにより関係人口を増やしたり、まちに賑わいを作り出すことにつながると思います。当町でも同様な取り組みができれば、伺います。

答 (まちづくり課長)

町民への情報提供はもとより、

町外に向けた平取町の魅力発信、関係人口の創出、移住・定住、企業や人材とのつながりづくりでは、デジタル技術の活用は重要であると認識しています。シェアオフィス等関連する取組については、これまでも二地域居住の促進や二風谷でのサテライトオフィス整備など行ってきた経緯がありますが、実際の利用には至りませんでした。

デジタル担当部署については、専門的知見を持つ人材の需要が全国的に高く、確保が難しい状況にあることから、現在はC・O補佐官制度を活用し、民間ノウハウを取り入れながら対応しています。令和8年度は行財政改革で組織機構の見直しを検討する年ですので、専任体制や横断的な推進体制が必要かなど協議していきたいと思っています。

※C・O補佐官制度とはC・O（情報化統括責任者）を専門的知見から補佐し、自治体のDX推進を支援する制度。

△二風谷地区のサテライト オフィス



町補助金の 交付状況について

問 町では独自の補助金制度を様々設けていますが、財政が厳しい中で、余剰金を少なくするように指導しています。補助金を受ける側の多くは補助金を見込みながら、年間計画を立て運営しています。その中で補助金の交付が遅れると事業を進めることが厳しくなると思います。毎年行う事業については概算払いをし、のちに精算することはできないか、伺います。

答 （総務課長）

地方自治法、会計法の規定に則り「平取町補助金等交付規

則」では、「補助金は額の確定後に交付する」ただし「補助事業等の遂行上必要があると認めるときは概算払いをすることができ」と規定しています。補助金のうち、運営費補助金は運用上、8割を上限として概算払いをすることができるとしています。8割でもなお運営に支障を及ぼすという場合は全額を概算交付する事例もありますが、全額を交付する場合の原則は債務確定後というルールです。で、会計検査院等の検査でも事務適正とされるような運用もしていかなければなりません。ルールの中で運用していく時に概算払いという方法を使って今のご要望にはお応えできると考えます。



役場庁舎整備事業の現状 と今後の大規模事業の 進め方について

問 4月に行った公募型プロポーザル「平取町防災拠点型庁舎

等整備基本構想・基本計画策定業務」とは何か伺います。

答 （総務課長）

老朽化した役場庁舎、町民体育館、消防庁舎が建て替え時期に来ているために、防災拠点として集約化、複合化を図りつつ、本町市街地の活性化に資する施設とする方法について、役場庁舎においては建て替える方法とふれあいセンターびらりの施設を改修し役場機能の集約化を図る方法と、どちらが効果的かつ効率的か、どこにどのような整備することが最適ななどの企画提案を募集しました。



△消防庁舎（昭和49年新築）

問 住民説明会はどう進めるのか。

答
(総務課長)

庁舎内検討委員会の検討を終えた後、町民有識者等による検討委員会を組織し、素案を作成し、住民説明会を開催します。

問 情報公開の中で、行政が何を行おうとしているのか、住民に知らせることが大事だとは思いますが、対話から生まれる「納得と共感」も必要だと考えます。これからの進め方について伺います。

答
(町長)

情報公開は基本原則と捉えています。様々な利害が違つ方から意見を聞きながら、納得、共感をしていただく努力を行い、決断を行います。事業実施にあたっては、財源、時間など考慮しながら、適切な情報の伝達を行い、住民意向の把握を基本に進めていきます。



△役場庁舎（昭和40年改築）

総務文教・産業厚生 合同常任委員会

5月15日開催

◆平取町税条例等の一部改正について

町税条例と町国民健康保険税条例について、国の関係法令が改正され、3月31日に公布、翌4月1日に施行されることから、専決処分したとの報告を受けました。税条例の主な改正は①軽自動車税環境性能割の廃止②固定資産税の免税点の引き上げ③能登半島地震に係る固定資産税特例措置の創設。国民健康保険税の主な改正は①子ども・子育て支援納付金の新設②医療分の課税限度額の引き上げ③低所得者の保険税軽減措置の拡充となっています。

5月25日開催

◆シシリムカ・イウオロ博物館計画（びらとりエコミュージアム計画）について

これまで平取町がアイヌ文化振興に取り組んできた成果として、町内には個人・コミュニティを中心とした地域主体による数多くの

遺産が蓄積されていることから、これらの成果を町内外に広く発信していくため、地域に点在する自然・歴史・文化資源を相互につなぎ、地域全体を一つの「屋根のない博物館（エコミュージアム）」として体験・理解していく考え方で整備する計画。観光案内機能を持った施設（ゲートウェイ）をまちの入り口である紫雲古津に設ける予定で、建物の候補として旧紫雲古津保育所の活用を検討しています。

＜エコミュージアムの考え方＞



※半世紀間の平取町におけるアイヌ文化振興の歩み

昭和47年の二風谷アイヌ文化資料館開館をはじめ、昭和58年二風谷アイヌ文化保存会結成、平成4

年町立二風谷アイヌ文化博物館開館、「アイヌ文化の里づくり」を推進。国による施策として平成8年有識者懇談会においてイオル再生の必要性が提起され、平成9年アイヌ文化振興法が制定、施行された。これを受け町では平成13年にI・W・O・R構想を策定し、アイヌ文化環境保全対策調査や文化的景観保護推進事業、イオル再生事業の開始、21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画の締結、加えてアイヌ施策推進法に基づく総合的な事業をアイヌ政策推進交付金により展開してきた。令和6年には「日高山脈襟裳十勝国立公園」が誕生し、環境省との連携も行っている。

Q 町全体が博物館なので、全町民の協力が不可欠です。説明会を開き皆さんの意見を聞く場を考えていますか。
(松澤)

A 地域の説明会は非常に重要です。その理解していただくために今年度から実施していきます。

(アイヌ施策推進課)
Q わかりにくい事業なので地域への説明には映像にしてわかりやすくしてほしいです。
(木村)

A 今年度には完成させて地域の皆さんにわかりやすい映像をお見せします。

(アイヌ施策推進課)

Q ゲートウェイの候補場所が旧紫雲古津保育所ですが、ここに決定した経緯を教えてください。

(崎廣)

A 紫雲古津自治会では、今のところ何も利用する計画がないとのこと、また平取町の入口であり、ポロシリ頂上まで望むことができ、本計画の全体が説明しやすいことも考慮しました。

(アイヌ施策推進課)

Q 旧紫雲古津保育所は近くに小学校があり、道路が狭くなっている部分があります。その辺の環境整備も考えてますか。(中川)

(アイヌ施策推進課)

産業厚生常任委員会

6月2日開催

◆令和7年度介護人材確保に関わる取り組みについて

介護人材の確保に向けて、平取



△平取中学校出前講座

福祉会、社会福祉協議会と協働し、出前講座、実務者研修、外国人人材との交流、さらには北海道介護福祉学校(栗山町)との連携を行ったとの報告がありました。

Q 将来を見据えて外国人を雇うための目標を定めて計画を立てるべきでは。

(松澤)

A 目標の設定は重要と考えます。各関係機関と協議し検討していきます。

(保健福祉課)

Q 人材確保に力を入れる考え方で、ICT機器導入に向けた検討とは。

(中川)

A 働く方々の負担を軽くすることで職員が定着し、人材確保につながる考えです。

(保健福祉課)

◆第4期平取町食育推進計画の策定について

食育基本法に基づき自治体の努力義務として位置付けされている市町村食育推進計画の策定について報告がありました。

Q 他の課や団体も巻き込みながら、子どもだけでなく多くの世代にむけて食育に取り組んでは。

(松澤)

A どの世代においても食育は大事なことだと思いますので、関係機関との連携も検討しながら進めます。

(保健福祉課)

◆ふるさと納税の取り組みについて

令和7年度は新規返礼品の追加、検索連動型広告の強化、ポータルサイトの拡充で、少額寄附が中心のサイトでも納税額増に効果的で、納税額は3億4500万円となりました。

Q 今後4億円まで目指すのであれば、今の体制で対応していけるのか。

(中川)

A 納税額が増えることにより事務量等も増えていく状況は、私も押さえています。現状を見なが

ら対応していきます。

(町長)

義経神社関連の返礼品



▽ご神馬絵馬

△交通安全御守



◆びらとり温泉の設置及び管理に関する条例の一部改正について

近年、人件費の上昇や物価高騰が続いていることから、条例で定める日帰り入浴料の上限額を引き上げる改正を行う案です。

◆陳情審査

5月25日開催の第3回臨時会で付託された「令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の採択を求める陳情」について協議した結果、採択と決定しました。

総務文教常任委員会

6月4日開催

◆令和8年度図書館講座の開催について

企業版ふるさと納税があり、その使途として図書館の振興に資する事業と申し添えがあったことから、納税額の一部を原資として講座の予算を増額。絵本作家の宮西達也氏を招き開催する報告がありました。

◆町税の不納欠損処分について

地方税法第15条の7第4項（滞納処分執行停止期間3年経過）による平成29年1件6万8000円、令和4年4件3万7700円の町税不納欠損処分する報告がありました。

◆二風谷コタンDAY開催補助金について

企業版ふるさと納税による「二風谷コタンDAY」事業展開の報告がありました。

①スタンプリリー②そり滑り体験・かんじき体験③舞台演劇「シールボルト父子伝」蒼い目のサムライ」の関係者を招聘しシールボルト

トとアイヌ文化、平取町にちなんだ講演会を開催する予定。

※エア・ウォーター（株）の企業版ふるさと納税は「ふるさと応援H（英知）プログラム」として令和7年度に「二風谷コタンDAY」が選ばれ、3か年分の開催補助金585万円の寄附が決まったもの。

△二風谷コタンDAYのポスター



◆道南バス路線の運行体系見直しについて

道南バスが運行する路線について、利用状況や運転者確保などを踏まえて令和8年10月1日から運行体系の見直しについての報告があり、①平取6時25分発苦小牧行き②苦小牧11時25分発平取行き③平取11時25分発びらとり温泉行きが減便予定です。確定次第、利用者への周知を行います。

◆工事請負契約の締結について

6月定例会提出議案「工事請負契約の締結について」は、工事入札の日程から議案の事前配布が間に合わず当日配布となるため、工事内容について口頭で説明がありました。

工事名：荷負生活館改築工事

◆陳情審査

5月25日開催の第3回臨時会で付託された3件の意見書の採択を求める陳情について協議した結果、いずれも「採択」と決定しました。

①令和8年陳情第1号「地方財政の充実・強化に関する意見書」②令和8年陳情第2号「義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書」③令和8年陳情第3号「道教委『これからの高校づくりに関する指針』（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書」

審議した議案

第3回 臨時会

令和8年
5月25日

▼工事請負契約の締結

・地域共生型高校生寮整備工事

契約者：小林組大基・楠特定建設工事共同企業体

契約金額：5億1920万円

▼専決処分報告

地方税法及び地方税法施行令等の関係法令が改正され、令和8年3月31日に公布、翌4月1日に施行されることから、「平取町税条例」及び「平取町国民健康保険税条例」の一部を改正する条例を専決処分したとの報告を受け、承認しました。

第4回 定例会

令和8年
6月18日

▼農業委員会委員の選任

次の14名の選任に同意しました。

山田 慶一氏（紫雲古津）
藤本 学氏（去場）
原田 和枝氏（荷菜）
坂本 秀司氏（荷菜）

- ▼固定資産評価審査委員の選任
平村 浩昭氏（本町）の選任に同意しました。
- ▼びらとり温泉の設置及び管理に関する条例の一部改正
入浴料の上限額の改正
- ▼辺地に係る総合整備計画の変更
事業の追加・変更による計画の変更
- ▼工事請負契約の締結
・荷負生活館改築工事
契約者…五十嵐・日新経常建設
共同企業体
- ▼一般会計補正予算（第1号）
戸籍附票システム改修業務委託料、住民基本台帳ネットワークシステム改修業務委託料、図書

館講座開催費増額、二風谷コタ
NDAY開催補助金

483万9000円を追加

▼意見書案の提出

・各常任委員長より、付託された意見書案の採択を求める陳情4件について、いずれも採択とする報告があり、これを元に意見書案が提出され、可決し、関係行政省庁等へ送付しました。

○地方財政の充実・強化に関する意見書 【提出者…崎廣議員】

○義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書 【提出者…崎廣議員】

○道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書 【提出者…金谷議員】
○令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

【提出者…中川議員】
・次の意見書案が提出され、可決し、関係行政省庁へ送付しました。

○ゼロカーボン北海道の実現に資

する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

【提出者…松澤議員】

※議案の審議結果は「平取町ホームページ」↓平取町議会↓議会の活動↓会議等の結果」でも確認できます。

議会を傍聴しませんか？

傍聴できる会議等は次の通りです。

開催日時	会議名	会議内容
8月7日（金） 9時30分～	町議会臨時会 （議事堂）	議案審議等
8月27日（木） 9時30分～	総務文教常任委員会 （議員・委員控室）	所管事務調査
8月28日（金） 9時30分～	産業厚生常任委員会 （議員・委員控室）	所管事務調査
9月17日（木） 9時30分～	町議会定例会（1日目） （議事堂）	一般質問等
9月18日（金） 9時30分～	町議会定例会（2日目） （議事堂）	議案審議等

YouTube 配信はこちら！



編集

議会広報広聴常任委員会（議会広報担当）
委員長：松澤 以久子 副委員長：中川 嘉久
委員：崎廣 秀樹、萱野 久彦、千葉 良則



萱野茂生誕100周年に寄せて

萱野茂生誕100周年を記念し、萱野氏のご子息であり、萱野茂二風谷アイヌ資料館長の萱野志朗氏にインタビューしました。



かやの しげる
萱野 茂氏

萱野茂氏の経歴を教えてください。

大正15年6月15日沙流郡平取村大字二風谷に生まれる。アイヌ語を母語として日本語との二つの言語の中で成長した。青年期にアイヌであることから逃避するために出稼ぎに出て、造材山の請負師や測量作業員、炭焼きなど職業を変えながら生計をたてる。その後、アイヌの民具、民話の収集記録に力を注ぎ、昭和47年、収集した約2000点の民具を「平取町立二風谷アイヌ文化資料館」に結実させる。その間、金田一京助氏、知里真志保氏らと知り合い、金成マツ筆録のユカラ（英雄叙事詩）の翻訳・研究に関し金田一京助氏を手伝う。昭和50年『ウエペケレ集大成』で菊池寛賞を受賞、昭和53年北海道文化奨励賞、平成元年吉川英治文化賞、平成5年

北海道文化賞を受賞、平取町議会議員を5期途中の平成4年まで務め、平成6年から平成10年の4年間は参議院議員を経て、萱野茂二風谷アイヌ資料館長を務めた。平成12年に大阪府吹田市の国立民族学博物館経由で総合研究大学院大学へ『アイヌ民族における神送りの研究—沙流川流域を中心に—』を提出し、翌年の平成13年3月に学術博士号が授与された。平成12年11月に平取町名誉町民の称号が授与された。平成18年5月、没。

萱野茂生誕100周年の特別展「萱野茂メモリアル100『萱野茂とあゆむ アイヌネノ アン アイヌー』」についてお聞きます。

9月1日から11月15日の期間に二風谷の3館（平取町立二風谷アイヌ文化博物館、沙流川歴史館、萱野茂二風谷アイヌ資料館）を会場に特別展を実施します。

平取町立二風谷アイヌ文化博物館では「アイヌらしい人間：アイヌ文化を生きる」を、沙流川歴史館では「人間らしい人間：権利と尊厳を取り戻す」、萱野茂二風谷アイヌ資料館では「人間らしいアイヌ：人との関係の中で生きる」をテーマに特別展を行います。萱野茂の歩みを民具、言葉、映像、証言など多彩な資料からたどります。

また、関連イベントとして、5つのイベントも開催します。

詳細は平取町立二風谷アイヌ文化博物館のホームページよりご確認ください。

最後に茂氏の生誕100年（没後20年）にあたり、ご自身の思いをお聞かせください。

平取町議会広報『私たちの町議会びらとり』に原稿を書く機会を得られたことを平取町議会ならびに平取町民に深く感謝致します。この令和8年が萱野茂の生誕100年に当たり、また没後20年となります。アイヌ民族初の国会議員（参議院議員）となり、平成9年に制定された「アイヌ文化振興法」に現職の参議院議員として関わり、アイヌ民族を取り巻く状況を少しでも改善しようと活動してきました。平取町の今後のご発展と平取町民のご平穏をお祈りし「萱野茂」の紹介とさせていただきます。



かやの しろう
萱野 志朗氏